

令和元年度社会科巡検報告



令和元年 8月20日（火）～21日（水）

白神山地周辺

社会科巡検日程

[8月20日]

- 8:00 秋田大学正門集合・出発
- 11:00 白神山地西目屋村到着
- 11:30 昼食（＊時間によっては移動途中で昼食の場合もあります。）
- 13:00 世界遺産ブナ満喫コースを体験（所要時間：約二時間半）
＊チェックインまで時間があれば、白神山地ビジターセンターにて学習
- 17:00 西目屋村出発
- 18:00 嶽温泉 山のホテル到着・チェックイン

[8月21日]

- 7:00 起床・朝食
- 8:00 嶽温泉 山のホテル出発
- 9:00 秋田県・青森県県境（釣瓶落峠）にてガイドと合流
- 9:30 白神山地岳岱自然観察教育林を散策（所要時間：約二時間）
- 11:30 白神山地岳岱自然観察教育林出発
- 12:00 白神山地世界遺産センター藤里館到着・食堂にて昼食
- 13:30 少年教室へ参加（所要時間：約二時間半）
- 16:00 活動終了・秋田大学へ出発
- 18:30 秋田大学正門到着・解散

役割分担

- ・会計係 小場心愛 藤井陽平
- ・施設予約兼昼食係 福田将平 林千穂
- ・しおり係 福永遥亮 柳原由堯

1人あたりの費用

- ・宿泊代（朝・夕食付）

先生方	11880円
女子学生	11340円
男子学生	10800円

＊夕食後に二次会を予定しておりますので別途4000円程のご準備を各自よろしくお願いたします。

- ・入湯税 150円
- ・ガイド料金 14000円（世界遺産ブナ満喫コース）→ 一人 1750円
- ・保険加入料 一人200円
- ・二日目の散策プログラム活動料金 5000円→ 一人625円

計 18605円（先生方） 18065円（女子学生） 17525円（男子学生）

＊この他に両日の昼食代、ガソリン代がかかります。ご了承ください。

宿情報

嶽温泉 山のホテル

- ・設備・備品
 - ・テレビ・トイレ（ウォッシュレット）・金庫・タオル・バスタオル・歯磨きセット
 - ・全館でWi-Fi利用可能
- ・住所：青森県弘前市常盤野湯の沢19
- ・電話番号：0172-83-2329

訪問施設一覧

◆ 白神山地西目屋村

ガイド料金：1 4 0 0 0 円

保険加入料：2 0 0 円

◆ 白神山地ビジターセンター

住所：青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田 6 1 - 1

電話番号：0 1 7 2 - 8 5 - 2 8 1 0

入館料：無料

◆ 白神山地世界遺産センター 藤里館

住所：秋田県山本郡藤里町藤琴里栗 6 3

電話番号：0 1 8 5 - 7 9 - 3 0 0 5

入館料：無料

◆ 白神山地岳岱自然教育林

住所：秋田県山本郡藤里町

活動料金：5 0 0 0 円

白神山地での巡検を終えて

1518044 柳原由堯

白神山地での巡検を終え、白神山地の持つ地域・そこに住む人々とのつながり、自然の力を理解することができた。白神山地は世界遺産ということで、大事の地域の観光資源になっていると感じた。今回は藤里町、西目屋村の両地域を訪れたが、双方とも白神山地に関連したグッズや観光プランなどを販売・企画しており、白神山地の経済的な地域への貢献をみることができた。経済的な結びつきに限らず、伝統的な日常生活との結びつきも見ることができた。白神山地で狩猟・採集などを行うマタギは、白神山地から自らが生きるための食料を得していて、白神山地と共存しているように思えた。

それぞれ、白神山地のとの結びつき方は異なれど、白神山地を保護していきたいという考えは共通していた。観光資源として白神山地に多くの観光客を招くことで、自然が人により荒らされてしまっている。実際、私たち巡検班もブナの木への落書きなどを見た。また、地球温暖化も大きな問題になっていると聞いた。このような問題があることは聞いたが、具体的にどのような対策を行っているのかは、聞かずに終わってしまったのが今回の反省だ。それらの解決策を考えてみても面白いかもしれない。

今回の巡検では、改めて白神山地のすごさを知ることができた。しかし、その「すごさ」というのは、自然の力がほとんどで、社会科というよりむしろ理科の要素が強い。これから授業を作成していく中で、今回学んだことをいかに、社会科として子どもたちに教えることができるのか試行錯誤して行きたい。

写真 1



写真 2



- ・写真1→ブナの木に刻まれた文字は戦時中に木材として使われるためのマークであった。
ブナの木は木材として加工が困難にも関わらず、使用しようとしたということから、戦時中の資源不足を読み取ることができる。
- ・写真2→白神山地の神秘的な自然。ジブリ映画「もののけ姫」の舞台のモデルともなった。

1518044 福永遥亮

白神山地は青森県と秋田県にまたがる自然遺産であり、1993年に登録された日本初の世界遺産の1つである。白神山地の世界遺産地域は大きく、登録の根拠や保護の対象となる核心地域と登録に必要な面積を満たすために付け加えられた緩衝地域の2つに分けられる。世界遺産地域の面積は青森県3、秋田県1の割合である。

今回の巡検では、社会科の視点から青森県、秋田県、2つの方向から取材を行った。

〈青森県側〉

青森県側から世界遺産地域へ通ずる山道は27本ある。同じ青森県にある三内丸山遺跡が縄文時代中期の情報を保存しているにすぎないのに対し、白神山地からは縄文時代すべての情報が見て取れる。

江戸時代には旅行家菅江真澄が暗門の滝を冬に訪れている。寒さの厳しい冬に訪れた理由は、夏には津軽藩が秘密裏にケシを栽培していたためである。ケシは薬の材料として栽培されていたが、中毒性があるため、取り締まりの対象だった。菅江真澄は薬事係を任されるほど薬草に精通していたため、知られるわけにはいかなかった。

白神山地の麓に位置する西目屋村縄文遺跡群からは、黒曜石や貝殻の他にヒスイも見つっている。特にヒスイの勾玉は新潟県で作られたものであり、当時から新潟県の辺りと交易していたことが分かっている。ちなみに当時、ヒスイを加工できる技術を持っているのは日本とインカ帝国のみであった。



〈秋田県側〉

秋田県は杉の植林で有名である。秋田県側の地域は植林地域になっているため、青森県に比べ世界遺産地域の面積が小さくなっている。また、秋田県側からは世界遺産地域へ通ずる山道が1本もなく、立ち入ることができない。秋田県側の白神山地は、二次林・杉の人工林・8000年の原生林にエリアが分類されている。

かつて、白神山地の西側に位置する青秋林道を大川に繋ごうとする計画があった。しかし、素波里湖や粕毛川の水が森林伐採によって減少したことを受けて、周辺住民の反対運動が起こった。青秋林道開通に対する反対運動は、全国的な自然保護運動と結びつき、開通阻止に成功した。



ブナは全国どこでも見られるが、白神山地ほどのブナ林はとても貴重である。

1970年代、本州で初めてクマゲラが確認された。それまでクマゲラは北海道にのみ生息していると考えられていた。以降、クマゲラは伐採反対のシンボルになっている。そして、青秋林道の阻止は日本で自然保護運動が初めて実った例である。

現在、白神山地が抱える最大の問題は地球温暖化である。今後自分たちにはどのようなことができるか考えていく必要がある。